

## World Sailing インターナショナル・レースオフィサー (IRO) 候補者の推薦基準

公益財団法人 日本セーリング連盟  
レースマネジメント委員会

本基準は、World Sailing の国際資格である、インターナショナル・レースオフィサー (IRO) の認定申請を行おうとする者について、公益財団法人日本セーリング連盟 (以下「連盟」という。) が World Sailing に対し推薦する場合の判定基準と手順を明示することにより、推薦過程の公正さと一貫性を確保し申請者の便宜を図ることを目的とする。

### 記

#### 1. 推薦作業部会の設置

IRO 候補者から連盟宛に推薦申請があった場合

- (1) レースマネジメント委員会は、IRO 候補の推薦の適否を判定するために、同委員会の諮問機関として「IRO 候補推薦作業部会」(以下、「推薦 WG」という。)を設置する。
- (2) 推薦WGは、レースマネジメント委員会正副委員長、連盟のルール委員会委員長、現 IRO を含む 8 名で構成する (以下「委員」という)。ただし推薦申請者本人は、委員になることはできない。
- (3) 委員の委嘱は、レースマネジメント委員長が候補者を指名し、レースマネジメント委員会にて承認を経た上で行う。

#### 2. 推薦WGの機能

- (1) 推薦WGは、推薦申請者から提出され申請書類に基づき、後述の推薦基準に照らし、推薦の適否を審査する。
- (2) 推薦が適当と判定された推薦申請者 (以下「候補者」という) について、レースマネジメント委員長は連盟理事会 (以下、「理事会」という。) に付議し、その承認を得るものとする。
- (3) World Sailing 所定期限の 10 日前までに理事会が開催されない場合には、レースマネジメント委員長は、連盟会長の承認をもって上記 (2) 所定の理事会承認に代えることができる。
- (4) レースマネジメント委員長は、理事会または連盟会長により承認された候補者について連盟事務局に報告し、連盟事務局は World Sailing が定める推薦手続きを実行するものとする。

### 3. 推薦申請の提出

連盟の推薦を得ようとする IRO 候補者は、以下の期限のとおり、必要な関係書類を連盟事務局 (jimukyoku@jsaf.or.jp) 宛提出することにより、推薦申請を行わなければならない。

- (1) 提出期限 World Sailing (WS) の定める認定申請期日は 2025 年より下記の年 2 回となっており、それに準じて連盟への推薦申請期限は、その 3 か月前の月末とする。

WS 期日 連盟への推薦申請期限

3 月 1 日 → 前年の 12 月 31 日

9 月 1 日 → 6 月 30 日

- (2) 必要書類

- ① 「IRO 推薦申請書」
- ② 少なくとも 1 つの連盟加盟団体を含む、複数の連盟加盟団体または特別加盟団体からの推薦状。その内の 1 つをレースマネジメント委員長の推薦状に代えることができる。

### 4. 推薦基準

- (1) World Sailing IRO セミナーを受講し、テストに合格していること。
- (2) World Sailing への申請に必要な要件を満たし、所定の書式を用意できているか、定められた期限までに用意できる目途が立っていること (WS 期日の方が JSAF 期限よりも後であるため)。
- (3) 以下の連盟推薦基準を、満たしていること。
  - ① 日本国籍を有する、または日本に在住していること。
  - ② 有効な連盟の会員資格を所持するナショナル・レースオフィサー (NRO) であること。
  - ③ 連盟公認のレースオフィサーとしてふさわしい行動と態度を示していること。
  - ④ レースマネジメントの普及と啓蒙に貢献していること。
  - ⑤ 複数の連盟加盟団体または特別加盟団体からの推薦があること。そのうちの 1 つを、レースマネジメント委員長による推薦に代えることができる。
  - ⑥ レースオフィサーとしての活動場所が以下のいずれかであること。
    - i) World Sailing
    - ii) 日本国
    - iii) World Sailing 加盟の各国連盟

- ⑦ レースオフィサーとして、以下の経験を有していること

〔IRO 推薦申請者に求められるレースマネジメント経験〕

申請期限以前の4年間に

- ① 別表1の「主要大会」のレースマネジメント委員を6回以上務めていること。  
「主要大会」1回を別表1の「準主要大会」2回と置き換えることができる。
- ② 上記の内、「主要大会」で4回以上のコースレースオフィサーを経験していること。その内1回は、別表1の「準主要大会」のコースレースオフィサー2回と置き換えることができる。

5. 本基準の制定改廃は、レースマネジメント委員会の決議による。なお細目については、連盟レースマネジメント委員長が定める。

#### 改定履歴

- (1) 本基準は、平成13年 5月 1日から施行する。
- (2) 本基準は、平成18年 4月 1日に一部修正する。
- (3) 本基準は、平成19年 4月 1日に一部修正する。
- (4) 本基準は、平成21年 4月 1日に一部修正する。
- (5) 本基準は、平成24年12月 8日に一部修正する。
- (6) 本基準は、平成28年 5月28日に一部修正する。
- (7) 本基準は、平成29年 5月27日に一部修正する。
- (8) 本基準は、2020年 5月30日に一部修正する。
- (9) 本基準は、2026年 4月30日に一部修正する。

「別表1」 IRO 推薦申請に係る大会のガイドライン  
<主要大会>

- ① 国民スポーツ大会
- ② 連盟公認の全日本選手権大会で、参加艇数が次のとおりである大会。  
ディンギー／ボード：20艇以上  
外洋艇・キールボート：10艇以上
- ③ 世界選手権または大陸別選手権への代表選考会である大会。
- ③ 国内で、3クラス以上、参加艇数60艇以上、レース日数が3日以上である大会。
- ④ 海外の大会で、WSのプリンシパル・イベント（L1）と格付けされる大会。
- ⑤ 外洋艇レースで150NM以上の大会。

<準主要大会>

- ① 国民スポーツ大会リハーサル大会。  
ただし、全日本選手権を兼ねる場合は「主要大会」の規定が適用される。
- ② 連盟公認の全日本選手権大会で、参加艇数が主要大会で定める艇数未満である大会。
- ③ 全日本選手権大会の予選である大会。
- ④ 水域選手権大会。
- ⑤ 海外の大会で、WS L2、L3に格付けされる大会。